

車体を「サビ」からしっかり守る RUSTOPシリーズ

車両は

冬期に散布される路面凍結防止剤（融雪塩）や、海岸近くでの、保管や走行によって、融雪塩や海からの塩が車体の細かい隙間に入り込み「サビ」によるダメージを受けます。また、最近では、融雪塩や海塩だけでなく、酸性雨他の大気汚染物質も「サビ」の原因になります。



バス 足回り部品のサビ



バス 床裏袋構造部サビ

この様な状態にならないためにも

「RUSTOP」を塗布することにより、新車はもちろん、リフレッシュ時、車両を「サビ」から守ります。
(既にサビた部品の上からでも効果が得られる施工方法があります)

「サビ発生面」部位への施工について (サビの発生した既存車)

- ・サビは、水分と空気中の酸素が鉄素材に直接接触すると発生、進行していきます。また、サビの内部は、無数の隙間があり、塩分などを含んだ水分が存在しています。つまり、サビ内部から水分(塩分などのサビを促進させる成分含有)を取り除く、あるいは同時に、酸素の供給を遮断するとサビの進行が止まります。
- ・この原理を理解した上で、サビの発生した面で効果を発揮する処理を推奨しています。

2層コート 処理

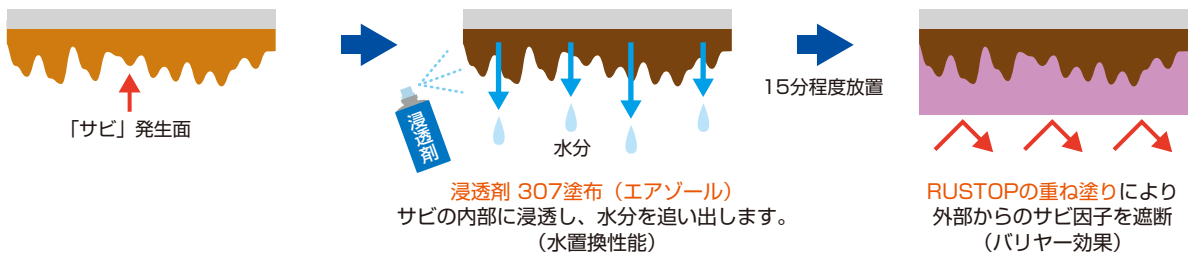
袋構造部用

浸透剤 307 + 7703BJ
(エアゾール) (RUSTOP)

床裏用

浸透剤 307 + HBY
(エアゾール) (RUSTOP)

浸透剤 307をサビ面に塗布すると、サビの中に含有している塩分などを含んだ水分を「追い出し」ます。その後、RUSTOPを重ね塗りすることで外部からの「サビの要因を遮断」し、サビの進行を止めます。(2層コート)



RUSTOPは、

- ① 車体の錆止め専用に設計された材料です。
- ② 柔軟で密着性に優れた被膜を形成します。
- ③ 同じ車体の床裏に塗布するシャシブラックとは塗布する目的が違うため材料設計が異なります。
- ④ 錆が発生した部位においても、優れた錆止め性能を有しており、推奨の浸透剤 307との組み合わせ処理で、錆の進行を止めることができます。

左記のようにRUSTOPは、シャシブラックと比較し、格段に優れた性能を発揮いたしますのでぜひ、ご検討をお願いいたします。

RUSTOP製品ラインナップ

エアゾールタイプ

各種エアゾールタイプをラインナップしております。



使用方法

1. エアゾールタイプですのでそのまま塗布が可能です。
2. 塗布する前に、缶を良く振ってください。
3. 塗布部位によって、付属のノズルに付け替えて御使用ください。

● 処理台数が多い場合

1L容器



使用方法

1. 袋構造内面用、床裏用の各製品とも、良く振ってください。(粘度が下がり作業性が良くなります)
2. ただし、外気温が低い場合、製品粘度が高くなり材料が出にくくなり作業性が低下します。塗装推奨温度：15℃～30℃です。推奨温度より、低い場合は、製品容器を40～50℃のお湯に浸けて暖めてください。

18L容器

御使用量に応じて18L容器入りもございます。



3. 装置へ接続するコンプレッサーエアーは、5kg/cm²程度です。
4. カップ式ガンの場合、カップ内部も加圧されますので吐出状態を確認しながら吐出ニードルバルブ、エアーバルブを調整してください。

詳しくは、JBUS リニューアル部 スタッフまでお問い合わせください。

お問い合わせ ……

小松特装・リニューアル部

〒923-8575 石川県小松市串町工業団地30番地
tel.0761-44-8670 fax.0761-44-8694

宇都宮特装・リニューアル部

〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町2857-2
tel.028-673-6079 fax.028-673-2178